

## 解放の基礎 敵の見分け方

今回と次回の学びのテーマは、「解放の基礎」です。副題は、「誰もが知りたいのに、尋ねることを恐れていた悪魔について」です。この2回の学びで、解放の主な側面をできる限り見ていきたいと思います。もちろん、詳細ではなく、アウトラインのみになりますが。

イエスのミニストリーから、この側面を考えるのが適切でしょう。マルコ1章を開きましょう。何度も言ってきたことですが、私はこれまで、イエスのミニストリーを改良しようという野心を持ったことはありません。ある人々は、現代なら、イエスのミニストリーは、より良い働きができるのにと感じています。私は、そうは思いません。イエスが公生涯を始めた時、最も人々が攻撃したものは、悪霊の取り扱い方でした。そして、これは旧約聖書ではまったく記録されていないイエスの一つの奇跡であったことは、注目に値します。いやし、食物の供給、自然を従えるなど、イエスの他のすべてのミニストリーはすでに旧約聖書に記録されています。しかし、旧約聖書には悪霊を追い出す記録はありません。そして、それを目撃した人々は、すぐにそれに惹き付けられ、興奮しました。これは、カペナウムのシナゴグでの最初の記述です。マルコ1:23にこうあります。

「すると、すぐにまた、その会堂に汚れた霊につかれた人がいて……」

ギリシャ語では「汚れた霊の中にある」とあり、それは言われている部分は英語に訳すことができません。おそらく、最も良い現代英語は、汚れた霊の「影響下にある」でしょう。

多少入れ替えても用いることができる3つのフレーズがあります。悪魔、悪霊、そして汚れた霊です。虚弱の霊、もしくは恐れのような特定の霊についてもお話します。マルコ1:23-24です。

「すると、すぐにまた、その会堂に汚れた霊につかれた人がいて、叫んで言った。『ナザレの人イエス。いったい私たちに何をしようというのです。あなたは私たちを滅ぼしに来たのでしょうか。私はあなたがどなたか知っています。神の聖者です。』」

悪霊がすぐにイエスが誰であるかを分かったことに注目してください。イエスは本当にどのような方であるかを認識し始めるのに、弟子たちは一年以上かかったでしょうが、悪霊はすぐにわかりました。悪霊はイエスを恐れました。また、「私たち」と「私」の組み合わせに注目してください。イエスがゲダラの男に語った時、イエスが「おまえの名は何か。」と聞くと、「私の名はレギオンです。私たちは大ぜいですから。」この「私」と「私たち」の組み合わせは、実に悪魔の特徴を表わしています。25節

「イエスは彼をしかって、『黙れ。この人から出て行け』と言われた。」

ギリシャ語で文字通り言うと、口輪をはめられて、彼から出て行け、です。

「すると、その汚れた霊はその人をひきつけさせ、大声をあげて、その人から出て行った。」

非常に劇的な、目に見える現象があったことに注目してください。それは、シナゴグでは通常に起こるものではありませんでした。誰かが私にこのように言ったことがあります。ほとんどの教会では、そのような人を教会から追い出してしまおう、と。しかし、みなさんも知ってのとおり、イエスはその人から悪霊を追い出しました。悪霊はシナゴグにその人を残して出て行きました。そして、27節です。

「人々はみな驚いて、互いに論じ合って言った。『これはどうだ。権威のある、新しい教えではないか。汚れた霊をさえ戒められる。すると従うのだ。』こうして、イエスの評判は、すぐに、ガリラヤ全地の至る所に広まった。」

それは、まさに真実です。その状況は変わっていません。あなたが悪霊の現れに遭遇し、それを取り扱うなら、その評判はすぐに広まるでしょう。人々がそれを目の当たりにするとき、今でも人々にもすごい印象を与えるのです。その箇所で私が強調したいことは、イエスはその人を取り扱ったのではなく、その人の中の霊を取り扱ったことです。その人の中にもう一人がいたのです。そして、その汚れた霊につかれた人がどういう人物であったかは触れられていませんが、以前は普通だったのです。お分かりですか。聖霊の油注ぎのあるイエスの臨在が、その人の中にいた、見えない悪霊の存在を引き出したのです。

その章の32-34節は数日後になりますが、この働きがさらに発展していることがわかります。

「夕方になった。日が沈むと、人々は病人や悪霊につかれた人をみな、イエスのもとに連れて来た。」

はっきりと言いますが、私は悪霊につかれたという訳が好きではありません。ギリシャ語は、*daimonizomai*です。*Daimon*は、語源で名詞のデーモンから来ています。そして、*izomai*は受動態で悪魔的です。私が英語で書くなら、悪魔的と書くのがいい訳だと思います。この、悪霊につかれたという訳は、残念なことに、どうしてクリスチャンが悪魔に取りつかれるのだろうかという多くの人々の疑問をあいまいにしてしまいます。私の答えは、真のクリスチャンは悪魔に取りつかれることはない、です。真のクリスチャンはイエスによって支配されています。しかしながら、多くの真のクリスチャンには、悪魔に苦しめられ影響を受けている、悪魔的な領域が部分的にあります。自分では完全にはコントロールしていない、生活と人格の領域というものがあります。そのような人々は悪魔的ですが、悪霊に取りつかれているわけではありません。翻訳の一つの障害をちゃんと取り除くことができたなら、よりよく現実を理解できるでしょう。

「夕方になった。日が沈むと、人々は病人や悪霊につかれた人をみな、イエスのもとに連れて来た。」

そして実際、新約聖書は病人と悪霊に疲れた人の違いを見分けるのが困難です。イエスも区別せず、ほとんど例外なく、全般的な働きとして、イエスは病人と悪魔的な人々を取り扱いました。

「こうして町中の者が戸口に集まって来た。イエスは、さまざまの病気にかかっている多くの人をいやし、また多くの悪霊を追い出された。そして悪霊どもがものを言うのをお許しにならなかった。彼らがイエスをよく知っていたからである。」

多くの翻訳が悪霊を追い出した、となっています。私は、英語のある翻訳で「吐き出した」としているのがいいと感じています。なぜなら、それはあまり宗教的な響きを持っていないからです。シンプルで、実際の、現実的です。あなたが肺に煙を吸い込んでしまったなら、どうしますか。それを吐き出します。それは意志の働きですが、物理的な面もあります。それこそ、私が用いたい言葉ですが、常にそれをを用いるわけではなく、私としては最高の表現だと考えます。イエスは多くの悪魔を吐き出させました。悪魔たちはイエスを知っていたので、イエスは悪魔がものを言うのをお許しになりませんでした。そして、同じ章の 39 節を読みましょう。

「こうしてイエスは、ガリラヤ全地にわたり、その会堂に行って、福音を告げ知らせ、悪霊を追い出された。」

イエスは、あらゆるシナゴグで福音を告げ、悪魔を追い出すという 2 つのことを決まっていきました。イエスはガリラヤ全土でそれを行ないました。ガリラヤには何百というシナゴグがあったに違いありません。多くの人々は悪魔を吐き出す必要な場合もある、と考えがちですが、それはとてもまれで、例外的なのです。そして、通常そのような人がいたら、刑務所や病院の精神科に行くべきだと考えるのです。単純にイエスが取り扱ったのはそういった人ではないと言っておく必要があります。イエスはシナゴグで毎週日曜日に正統派ユダヤ教徒と論じ合っており、彼らは他の日は家族の世話や畑の世話、漁に行ったりしていました。彼らは基本的に普通の立派な宗教的な人々でしたが、とらわれていたものがありました。ある領域において、彼らは自分自身をコントロールされていなかったと言えます。

ですから、解放が必要な人は犯人か狂人であつたに違いない、という印象を持たないでください。<sup>こんにち</sup>今日私たちがおもに取り扱う人々は、まさに同様の人々です。例外的ではありません。教会に集う立派な宗教的な人々で、正しいことを語りますが、その生活は自分でコントロールできない悪魔的な部分のある人々です。それは、肉的な欲求かもしれませんし、感情的なもの、また思いの中にあるかもしれません。あとで、様々な領域を取り扱います、しかし、私が言っていることを受け入れるなら、この問題についてあなたに客観的に見ることをできなくさせている、多くの偏見を取り除くことができます。

奇妙かもしれませんが、ある国の人は他の国の解放の必要性を容易に受け入れます。そのピックについてデンマークで語ったことがあります。デンマーク人はアメリカ人に解放が必要であることを疑うことなく信じています。そして、アメリカ人も、アフリカ人に解放が必要であることを疑うことなく信じています。私は 8 年間アフリカで生活しましたが、アメリカで出会ったほどには、多くの悪魔に出会いませんでした。単なる文化の違いなのです。彼らは、その環境に適応しています。

では、並行するイエスのミニストリーのもう一つの描写を見てみましょう。ルカ 4:40-41 に同じ出来事が書かれています。マルコ 1 章に書かれているイエスのミニストリーの同じ部分です。

「日が暮れると、いろいろな病気で弱っている者をかかえた人たちがみな、その病人をみもとに連れて来た。イエスは、ひとりひとりに手を置いて、いやされた。悪霊どもも、『あなたこそ神の子です』と大声で叫びながら、多くの人から出て行った……」

その先を読む必要はないでしょう。このように、癒しと解放のミニストリーは織り交ぜられています。人々は病気があ

ったのでやって来ましたが、多くの場合、その治療法は、悪霊を吐き出すことでした。そして、イエスはひとり一人に手を置いたことに注目してください。かつて存在し、今日なおあるかどうかわかりませんが、ペンテコステ派の伝統では、悪霊を持った人に手を置くことは聖書的ではないというものがありました。もしそうであるなら、イエスは聖書的ではないのです。私は伝統よりむしろイエスの模範に従いたいと思います。

さて、もう一つ、ルカ 13 章を見てみましょう。ルカ 13:11-16 に腰が曲がった女性のことが書いてあります。その後、もう一つの出来事がシナゴグでありました。

「すると、そこに十八年も病の霊につかれ、腰が曲がって、全然伸ばすことのできない女がいた。イエスは、その女を見て、呼び寄せ、『あなたの病気はいやされました』と言って、手を置かれると、女はたちどころに腰が伸びて、神をあがめた。すると、それを見た会堂管理者は、イエスが安息日にいやされたのを憤って、群衆に言った。『働いてよい日は六日です。その間に来て直してもらうがよい。安息日には、いけないのです。』しかし、主は彼に答えて言われた。『偽善者たち。あなたがたは、安息日に、牛やろばを小屋からほどもき、水を飲ませに連れて行くではありませんか。この女はアブラハムの娘なのです。それを十八年もの間サタンが縛っていたのです。安息日だからといってこの束縛を解いてやってはいけないのですか。』」

彼女はユダヤ教徒であり、シナゴグの会員で、腰が完全に曲がっているという問題を抱えていました。身体的なことがおもな問題ではなく、問題は虚弱の霊によるものでした。虚弱の霊が彼女を離れた瞬間、彼女の腰がまっすぐになりました。それには洞察が必要ですが、私たちが身体的なものとして分類する問題が、実際には悪霊によるものであると私は指摘したいのです。イエスはまた、悪霊に起因する、口がきけない、聞こえない、目が見えない人たちを取り扱いました。そして多くのケースで、人々をいやすイエスのミニストリーは、口がきけない、耳が聞こえない、目を見えなくさせた霊からの解放でした。詳しくは説明しませんが、それらの領域において、私自身のミニストリーで同様の例を見てきたのです。

少し先のルカ 13:31-32 を読みます。

「ちょうどそのとき、何人かのパリサイ人が近寄って来て、イエスに言った。「ここから出てほかの所へ行きなさい。ヘロデがあなたを殺そうと思っています。」イエスは言われた。「行って、あの狐にこう言いなさい。『よく見なさい。わたしは、きょうと、あすとは、悪霊どもを追い出し、病人をいやし、三日目に全うされます。』」

これは、ヘブル的ですが、きょうと、あすと三日目というのは、今から働きが終わる時までを意味します。イエスは、悪霊を追い出し、病人をいやすという 2 つのを行なうと言っています。それはイエスがどのように始め、どのように継続し、どのように終わるかです。イエスのミニストリー全体は、最初から最後までそれが主な部分であり、おそらく病人の癒しと悪霊を追い出すことはイエスの時間の3分の1に相当したでしょう。そして、その 2 つは区別できないほど、まさに絡み合っていました。

次に、私が言いたいことを簡単に説明すると、新約聖書には悪霊を取り扱うための権限が与えられることなく、伝道に出かけた人は一人もいないということです。新約聖書には一つもその例はありません。それは非聖書的なのです。

最初に十二弟子が遣わされたところを見てみましょう。マタイ 10:1 です。

「イエスは十二弟子を呼び寄せて、汚れた霊どもを制する権威をお授けになった。霊どもを追い出し、あらゆる病気、あらゆるわずらいをいやすためであった。」

イエスが最初にされたことは、悪霊を取り扱う権威を弟子たちに授けることであったことに注目してください。5 節に続きます。

「イエスは、この十二人を遣わし、そのとき彼らにこう命じられた。『異邦人の道に行ってははいけません。サマリア人の町に入ってははいけません。イスラエルの家の失われた羊のところに行きなさい。行って、『天の御国が近づいた』と宣べ伝えなさい。病人をいやし、死人を生き返らせ、ツアラアトに冒された者をきよめ、悪霊を追い出さなさい。』」

それは、彼らを整え、任命することを含みます。ルカ 10 章ではさらに 70 人が遣わされたことがわかります。ルカ 10:1 です。

「その後、主は、別に七十人を定め、ご自分が行くつもりすべての町や村へ、ふたりずつ先にお遣わしになった。」

そして 17 節を見ると、その 70 人が戻ってきて報告をしています。

「さて、七十人が喜んで帰って来て、こう言った。『主よ。あなたの御名を使うと、悪霊どもでさえ、私たちに服従します。』」

一番印象的なことは何ですか。彼らには悪霊に対する権威があったことです。彼らとは、あの十二弟子ではなく、70 人です。

そして、福音書の終わりに最後の命令があります。まず、マルコ 16:15 以下を見てみましょう。

「それから、イエスは彼らにこう言われた。『全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。信じてバプテスマを受ける者は、救われます。しかし、信じない者は罪に定められます。信じる人々には次のようなしるしが伴います。すなわち、わたしの名によって悪霊を追い出し……』」

イエスは、どのように悪霊を取り扱うかを確認してから、彼らを遣わしました。そして、マタイ 28 章の大宣教命令の別のバージョンです。19-20 節。

「それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

イエスは、ご自身が教えたすべてのことを人々に教えるように、弟子たちに言いました。イエスが教えたおもな一つが、悪霊の取り扱い方でした。そして、弟子を作る時には、ご自身が教えたことを教え、その弟子となった者たちも、自分たちが教えられたことを教えるようにと言いました。そして、世の終わりまでイエスはともにおられると言われました。そのプロセスは変わることがないと言われました。イエスは、去る時から戻って来られるまで変わらず続くビジョンを与えました。それがイエスのプログラムです。悲しいことに、教会はそれから離れてしまっています。それを用いていません。できないのです。教会は完全に失敗をまねいてしまいました。

イエス以外に、ただ一人、新約聖書で伝道者と呼ばれた人がいます。たった一人です。私は使徒と呼ばれる人が28名いることを聖書で数えましたが、伝道者と呼ばれたのはただ一人です。それは注目に値しますね。私たちは伝道者という肩書を与えることに躊躇はしません。現代の教会の中で牧師でない人はみな、伝道者であるべきです。基本的に、牧師か伝道者かのどちらかです。では、伝道者と呼ばれたのは誰でしたか。ピリポです。彼の働きは使徒8章に書かれています。使徒8:5。

「ピリポはサマリアの町に下って行き、人々にキリストを宣べ伝えた。」

ピリポのメッセージはとてもシンプルでした。一言のメッセージでした。サマリアでキリストを宣べ伝え、ガザへの道でイエスを宣べ伝えました。

「群衆はピリポの話聞き、その行っていたしるしを見て、みなそろって、彼の語ることに耳を傾けた。汚れた霊につかれた多くの人たちからは、その霊が大声で叫んで出て行くし、多くの中風の者や足のなえた者は直ったからである。」

ピリポの伝道者としての最初のミニストリーは、悪霊を追い出すことであったことに注目してください。ですから、私はイエスの模範と任命の両方が、まず悪霊を取り扱うために整えられることなく伝道に出て行くことは、神のしもべにあってはならないとみなさんに提案します。そのような例を見つけることはできないと思います。

さて、悪霊という言葉にこだわりますが、悪霊の性質について、一般的な教えと、あなたや他の人の中で悪霊が働いているかどうかを知る方法をお教えしたいと思います。もちろん、霊を見分けることと、知識のことばの2つの賜物が常に必要です。しかし、それとは別に、超自然的な領域において、だれにおいても、悪霊の存在に警戒すべき非常に多くの混ざり合った徴候があります。まず知らなければならないことは、悪霊は肉体のない人格です。あなたは人格を取り扱うのです。からだの中に入ろうとする、飢え渴いた肉体から分離した人格です。それを理解する必要があります。悪霊は、からだの外側ではまったく不満なのです。悪霊が望むのは、人間のからだですが、肉体から離れるよりはましだと、豚や犬、他の動物で手を打つことがあります。実体を失いたくないのです。それが彼らの悩みです。

悪霊はサタンから2つの主な目的が課されています。一つ目は、あなたがキリストを救い主として知ることから遠ざけることです。それに失敗すると、2つ目の目的は、キリストに効果的に仕えることからあなたを遠ざけることです。おわかりですか。第一の目的で失敗しても、悪魔はあきらめません。単純に、第二の目的に移ります。

私たちは肉と悪霊を区別する必要があります。古い肉の性質である古い人。人格である悪霊は、そこに入り込み、あなたの人格の領域を占領します。私はそれを次のように比較します。肉は死体で、悪霊は死体に集まるハゲタカです。お分かりですか。もし、肉がないなら、ハゲタカもいません。非常に鮮明な描写です。あなたがもし、ハゲタカがいる国に住んでいるなら、何かが死のうとしている時、小さな影が空に現れ、空中にとどまるのを知っておられるでしょう。しばらく見上げていると、地面の動物の死が近くなると、3羽、4羽とハゲタカはさらに低空にきます。イエスは、「死体のある所には、はげたかが集まります。」と言いました。この世の欲と罪深さがあらわになっている、人のかたくなな肉のあるところに、ハゲタカが集まるのが確かだと思えるでしょう。

肉と悪霊の対処法は全く違うものです。肉のための治療法は何でしょうか。そう、十字架です。ガラテヤ5:24です。

「キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を、さまざまの情欲や欲望とともに、十字架につけてしまったのです。」

悪霊のための治療法は何でしょうか。吐き出すことです。その治療法を取り換えることはできません。あなたは肉を吐き出すことはできませんし、悪霊を十字架につけることもできません。ですから、どちらの治療法を適用するかを知るために、何を取り扱っているかを知る必要があるのです。

あなたが聖書を読み、祈り、定期的に交わりを持ち、主に仕えたいと願う、献身した誠実なクリスチャンであって、苦悩、屈辱、束縛、とらわれているなど、特別な問題を持っていて、あらゆる治療法を試し、祈り、断食し、あなた自身は死んだのだとみなしても、なお解決しないなら、あなたは悪霊を取り扱っているのだと、ほぼ確信できます。私は自分の経験から、このことを言うことができるのです。

さて、次に、悪霊の特徴的活動を説明したいと思います。悪霊の特徴的活動を表わす9つをリストアップします。もし、それらの一つ以上があなたの生活の中で存在するなら、あるいはそれが非常に激しいなら、確かめる必要があります。あなたは解放が必要であるかもしれません。そして、覚えておいてほしいことは、これらのすべては人格の活動で、私たちはからだを持たない人格を取り扱っているということです。

一つ目、誘惑です。悪霊は誘惑します。悪霊は、人々を悪へと誘惑します。そして、あなたが自分の経験を分析すると、誘惑が文字通りの形でしばしばやって来ることがわかります。美しい金色の鉛筆が床に落ちて、あなたがそれを見ていると、何かがあなたに語りかけます。「それを取りなさい。誰も見ていないよ。他の人も同じことをするさ。それがあなたの鉛筆だったとしたら、他の人は自分のものにするよ。」それがなんだかわかりますか。声を持っているものはすべて人格です。その声の背後にあるのは、あなたを誘惑する悪霊です。そのような経験をした人は、私だけかもしれませんが。

二つ目、悪霊は攻撃します。あなたがどこの国の人であるかに基づいて攻撃します。悪霊はあなたをよく研究し、あなたの行動を尾行し、あなたの弱い瞬間、弱い場所を知り、いつどのように入り込むかを正確に知っています。私が通常挙げる例は、職場でひどい一日を送ったビジネスマンです。すべてがうまくいかず、自分の秘書は役に立たず、エアコンも壊れた…。そして帰宅時には渋滞に遭い、高速道路で一時間も立ち往生し、家に着くと、妻は遅い夕食を取っている最中で、子どもは叫びながら走り回っている。そしてドアを開けて彼は怒りをぶちまけます。何が起こるで

しょうか。一日中彼に付きまとっていた怒りの悪霊が飛び出すのです。その後、彼の妻は彼の変化に気づきます。彼は素晴らしい父親であり、夫であることに変わりはないのですが、何かに乗っ取られる時があるのです。そして妻は夫の目に何らかの違いを見つけ、夫が妻や子どもを愛しているにも関わらず、その瞬間が夫に臨んだとき、彼はみじめな人生にさせられてしまうのです。そして後になって、夫はとて恥ずかしく、後悔し、「どうしてあんな態度を取ってしまったのかわからない。」と言います。いや、私たちにはわかります。それは怒りの悪霊です。

3つ目、悪霊は苦しめます。聖書はマタイ18章で苦しめる者について語っています。私は、悪霊は、苦しめる者であると信じます。マタイ18章(の赦さないしもべのたとえ)で、わずかの負債を抱えた仲間のしもべを赦さないしもべは、神によって苦しめる者に引き渡されました。私は苦しめる者の手に渡された多くのクリスチャンに出会ってきました。なぜでしょうか。赦さないからです。もし、あなたの心に、誰かに対して赦さない思いがあるなら、あなたは苦しめる者の格好の標的となります。そしてサタンは、入り込む余地があることを知っている全くのプロです。苦しめる方法は様々です。

身体的な苦しみがあります。関節炎を例に挙げましょう。関節炎を見る時、あなたは悪魔の活動を見ることができます。ねじれ、変形、足を引きずる、不自由。

精神的な苦しみがあります。珍しいものの一つは、正気でなくなる恐れです。それは、あなたの問題ではありません。あなたの問題は、偽りの非難する霊であって、あなたの平安とあなたの救いの確信を奪うことです。

4つ目、彼らは脅迫的です。脅迫的という単語以上に適切な単語はないと思います。ほぼすべての脅迫的なことは悪霊的になりやすいです。過度の喫煙、アルコールの異常摂取、しかしそれだけではありません。異常な食べ方も悪霊的です。暴飲暴食はアルコールとまったく同じ問題です。しかし、それはちゃんとした人です。あなたは教会の中でアルコール依存ではあり得ないでしょうが、大食いではあり得ます。他のかたちでの脅迫的なものがあります。過度に話すこと、おしゃべりです。話すことを止められない人は問題があります。そして、彼ら自身も問題です。

5つ目、悪霊は人を奴隷にします。非常に身近です。あなたが性的な領域で罪を犯したことがあるとします。あなたは悔い改め、イエスの元へ行き、赦しときよめを受け取り、あなたは義とされます。まるであなたが罪を犯さなかったかのように義とされます。それですべて完了です。しかし、結局あなたが再び同じ罪を犯す衝動に駆られるなら、たとえあなたがそれを憎んでいたとしても、あなたは奴隷とされているのです。非常に一般的な一例はマスターベーションです。一部の心理学者や人々は、マスターベーションは問題がない、健康的なことだと言います。私はそれについて議論さえしません。しかし、それをしている多くの人が、その行為をする自分を憎んでいることを私は知っています。そして、いつも彼らは、もう二度としないとしますが、うまくいった試しがないのです。彼らは奴隷となっています。マスターベーションの悪霊というのがあります。それはとても一般的です。それを捨ててください。イエスの血によってきよめを宣言し、それから逃げてください。それは非常に手ごわいです。多くの人々がイエスの御名によって、それを振り払い、逃れなければならないのです。

実は、4と5は依存症です。強迫観念と奴隷的になることは、ともに依存症です。私たちは依存症の様々なかたちを知っています。一般的でないものもあります。私は以前、マニユキアのにおいへの依存がある若い女性を取り扱っ



たことがあります。彼女はただ、マニキュアのおいを嗅ぐのが好きでした。彼女は、デパートの化粧品売り場を歩くと、2つの選択肢を考えるのだと私に言いました。マニキュアを買うか、店から出て行くかだそうです。彼女がそのことから解放された時、悪霊は叫びながら出て行き、彼女から離れました。別の依存症もあります。最近一般的なのは、テレビへの依存です。テレビは多くの人にとってアルコールと同じくらいの依存となります。彼らはテレビのスイッチを入れないと部屋の中に入ることができません。無意識に、何を見ようとか考えずに、アルコール依存者がアルコールに手を伸ばすようにテレビのスイッチに手を伸ばさずにはられません。私は、おそらく、それはアルコールよりも、長期にわたって害を及ぼすのではないかと思います。

6つ目、悪霊は汚れです。悪霊はあなたを不潔で聖くないと感じさせます。特に、あなたが神を礼拝している時です。あなたがまさに神の臨在に入り込んでいる時、この汚れたイメージ、あるいは不潔なことがあなたの思いに浮かびます。あなたが神を礼拝している時、あなたの思いに反する者が起こることは、ほぼ悪霊的と言えます。あるいは、あなたが聖書を読んでいる時です。よくあるのは、眠りの霊です。ご存知のように、聖書は睡魔の霊について語っています。ある人が夜10時に聖書を読もうと考えていると、その人は10時15分には眠くなってしまいます。その人がテレビを見たいと思った時は、真夜中まで起きていることができます。それは自然なことではありません。テレビを見ることを楽しみ、聖書を読むことを嫌いにさせる霊的な力があるのです。お分かりですか。

7つ目、悪霊は偽り者です。私は、霊的な偽りのすべてが、基本的に悪霊的であると信じます。偽りに扉を開くものが何であるかを知っていますか。プライドです。私には、プライドの戸口を通らない偽りがあるとは思えません。プライドは、必然的に偽りへとつながるのです。

8つ目、悪霊は弱らせ、病気にさせる、あるいは疲れさせます。(悪霊的な疲労があります。)ある女性を取り扱っていたとき、彼女は、「私はこれ以上このセッションに耐えることができません。とても疲れたんです。」と言いました。私はそれが悪霊であると感じ、彼女を気の毒に思いました。私が悪霊に問いただすと、悪霊はそうだと言いました。彼女はいつも疲れていました。起きる時、寝る前、祈るときにも、聖書を読むときにも彼女は疲れていました。それは背後に隠れているものの一つです。また、彼らは殺します。サタンは殺人者であることを覚えていてください。サタンは身体的に人々を殺します。そして、サタンが人を殺すように遣わす死の霊というのがあります。

それを一言でまとめるとしたら、「落ち着きがない」という単語になるでしょう。悪霊的な人は通常、一部の領域で落ち着きません。本当にリラックスし、平安であることができる人は、解放の必要はありません。

もっと先に行きたいのですが、時間の関係上 8 つの紹介になりました。次に私たちが扱うのは、悪霊の住む領域です。箴言 25:28 です。

「自分の心を制することができない人は、城壁のない、打ちこわされた町のようなだ。」

人間の個性の内なる性質と町とを比較します。そして、その人に霊的防衛がない時、その人はほぼあらゆる悪霊が入り込むことに開かれています。薬物依存を取り上げると、それがその人を表わしています。その人の城壁は壊れているので、あらゆるものが入り込むことができます。しかし、一つの町には様々な地域があります。裕福な地域、ス

ラム地域、銀行や商業の地域、スポーツの地域、様々な民族の地域などがあります。私は以前シカゴに住んだことがあり、そこでは、ポーランド人だけの地域、スウェーデン人だけの地域、ユダヤ人だけの地域などがありました。そして、私たちの内側にも、各領域に特徴的な居住者がいる様々な領域の町があります。お分かりでしょうか。その領域のリストをみなさんに少しご紹介します。私はプロの心理学者ではないので、これは長年の経験に基づいたものです。

一つ目のおもな領域は、感情と態度です。私は「ギャング」と呼びます。悪霊のギャング、すなわち一味があるからです。その一つ一つが次への道を開いて行きます。あなたが一つに出会うと、他の者を探し始めなければなりません。私の個人的な意見では、あらゆる否定的な感情と態度の背後には悪霊がいると思います。怒り、恐れ、孤独感、みじめさ、自己憐憫、プライド、嫉妬など、相当なリストがあります。怒りを覚えるということで、必ずしもあなたに怒りの悪霊があるというわけではありませんが、もし、あなたの怒りが今挙げたリストの中にあるなら、おそらくあなたは怒りの悪霊を持っているでしょう。残っている根っこが成長して起こる特定の問題があります。最も大きな一つの根っこの問題は拒絶であると思います。そして、拒絶は連続するもの全体につながります。孤独感、みじめさ、自己憐憫、うつ、悲観、そして、あなたがそこまで行き着いたとき、あなたは2つの内のどちらかに向かっています。それが受け身であるなら死で、それが自発的であれば自殺です。私は悪霊によるもの以外では、誰一人自殺することはないと思います。これは私個人の意見で、証明することはできませんが。

もう一つの非常に典型的な問題は、憤り、憎しみ、怒り、暴力へとつながる拒絶で、あなたもご存知の典型的なギャングのリーダーなどを生み出します。

二つ目は、思いです。ある意味、思いは戦いの場です。思いに影響を与える典型的な特徴の霊は、疑い、不信感、混乱、優柔不断、錯乱です。そして、私が発見したことは、オカルトに関わっていた人々がほとんどと言っているほど混乱の問題を抱えていたということです。それが感情的、精神的であれ、うつがそこには存在します。

三つ目の領域は、舌です。舌の典型的な悪霊が数多くあります。その主なものは偽りです。聖書は偽りの霊について語っています。脅迫的な嘘つきの人があります。彼らは自分が嘘をついていることすらわかっていません。私にはそのような友人がいて、彼はある町の教会に通うビジネスマンの社長で、まら、典型的な営業マンでした。彼は立派なクリスチャンで、素晴らしい話し手でした。彼は私たちのリビングルームに座って話し始め、その話にどんどん興味を覚えました。ありえなさそうな話でした。私は頭が混乱し、彼は自分が言っていることを自分で信じているのかと考えました。私は彼の言っていることを信じられるか。それは自然から超自然の中へと流れていくようなものでした。その霊がどのようにして彼に入って来たのかが、私はその後わかりました。彼は裕福な両親の養子で、その両親には他の子どもはおらず、彼にすべての愛情をかけていました。両親にとっては彼がすべてでした。そして、彼は学校から通知表を持って帰ってくると、両親がその成績に不満で失望するということに気づきました。そして、両親が失望感を表わすと、彼はそれには価値がないと思い、学校の成績について嘘をつきました。そして、彼はすべての面において嘘をつくようになったのです。最終的に彼は解放されたと信じます。しかし、そのことは私にとって啓示となりました。このように、脅迫的な嘘つきである人は、自分が嘘をついていることすらわかっていないので、とても紛らわしいのです。彼らはうそ発見器でもパスしてしまうでしょう。他に何かあるでしょうか。

教会に通う人の中傷とゴシップの悪霊があります。私は、ある教会の集会に行き、悪霊をもった一人の女性が来

たとき、私は、あなたの問題は中傷の霊です、と言いました。私が、「中傷の霊よ、彼女から出て行け」と言うと、回りの4人の人たちが同時に解放され始めました。誇張、伝道的悪霊、冒涇、私は主が私を救ってくださった時、冒涇の奴隷でした。冒涇なしに話すことが全くできませんでした。汚れた説教など。否定的な話です。

4つ目、教会で誰も話さないこと、セックスです。教会でそのことが話されないのは、その問題を持っている人々は精神科医に行くからです。そして、精神科医は言います。あなたには罪悪感の問題があり、その問題はあなたの宗教の中心です。あなたの宗教を捨てれば、罪悪感はなくなると。すべての精神科医がそのように言うわけではありませんが、教会に10年間通っていて、なお罪悪感があるなら、あなたの問題は、宗教かもしれないと言うでしょう。私はセックスについて言わなければならないことがあります。第一に、セックスは悪ではありません。良いものです。私たちはその誤解を取り除かなければなりません。神は男と女という性を創造しました。そして、すべてのものを創られた後、セックスを含めて、それは非常に良かったと神は言われたのです。教会の大きな問題の一つは、私たちはセックスに対して正直ではないことで、それを恥ずかしいものと感じ、上品ぶって、その態度によって問題を大きくしているのです。あまりにも逸脱したセックスの形はすべて悪霊的であると言いましょ。例外なしに、です。私たちが話すことのない、マスターベーション、不倫、姦淫、同性愛、ニューハーフやその他ぞっとするような性的倒錯など。私は、これらすべてが悪霊的であると言います。あなたは恥ずかしがることなく、あなたの問題を解決しなければなりません。

5つ目、情欲です。その見出しでセックスを含めることもできましたが、それを分けたのは、別の領域だからです。異常な性欲と食欲です。私はすべての食欲は、最初は健康的であったと信じます、しかし、罪と悪霊の力により、食欲は不健康で破壊的になり、ゆがめられてしまいました。第一ヨハネ 2:16 で、肉の欲、目の欲について書いてあります。目をコントロールする悪霊的な力があります。男性の中には、女性を特殊な見方でしか見られない人がいます。彼らの目にフォーカスした悪魔です。すでにお話ししましたが、過食は異常な食欲の非常に明確な例です。解放されることを求めて、シカゴの雪嵐の中を100km 以上の道のりをやってきた女性がいました。彼女は牧師の娘でした。牧師家庭によくあるように、彼女は両親や宗教に対して反抗的で、救われていない男性と結婚し、結局悲惨な状況に陥りました。彼女には3人の子どもがいました。彼女は過食の悪魔から解放され、その後こう言いました。「先生、このことが現実でないということは誰にもできません。私には3人の子どもがいますが、まるで赤ちゃんを産むことのように現実的です。」そして、彼女は、子どもたちに必要だとわかっていながら、子どもたちのお皿から食べ物を奪うほどに強迫的な食欲があったと語りました。

依存症についてお話ししましょう。依存症はフラストレーションによって成長します。それらは幹につながっている枝です。もし、あなたが単に依存症に対処するだけなら、その問題を解決することはできません。アルコール依存と過食症を例に挙げましょう。あるクリスチャン女性の夫は、他の女性たちと浮気ばかりして、彼女を気にかけず、生活費もろくに渡していませんでした。彼女はフラストレーションが募り、気晴らしにとリビングルームのお酒の入っている棚へと歩いて行き、アルコール依存に陥ります。別の女性もクリスチャンですが、彼女の夫もまったく同じでした。しかし、その女性はお酒の棚は遠くにありました。そこで彼女はどうしたでしょうか。キッチンに行って、冷蔵庫を開けます。そして彼女は過食になります。その違いはわずかです。そしてどちらのケースにおいても、彼女たちを助けるには、彼女たちの夫に対する態度という元々のフラストレーションに対処しなければなりません。いいですね。リストの続きに戻しましょう。

6つ目、オカルトの全領域です。オカルトと言っても、それはとても大きな領域です。そしてそのあらゆる部分が悪霊的です。見かけは良いものであっても。私は、あなたがヨガのエクササイズに関わることを議論するつもりはありません。私は、ヨガの修行をしていました。みなさんに言いますが、3メートルのポールに触ることは何の意味もありません。あなたは健康のためにヨガに頼る必要はなく、主があなたに健康を与えてくださいます。私が言っているのは、オカルトはとても深く暗い穴ぐらです。すべての道が中に入る足跡だけで、外に出る道はないほら穴の一つです。

7つ目、あらゆる偽りの宗教です。イスラム教、モルモン教、エホバの証人、仏教、ヒンズー教、そしていくつかの点においてユダヤ教です。悪魔のいない偽りの宗教はありません。サタンは、宗教の分野においては専門家です。そこがサタンの働く主な領域です。

8つ目、すべての異教。クリスチャンの信仰から離脱した異教という意味です。第一テモテ4章を見てみましょう。

「しかし、御霊が明らかに言われるように、後の時代になると、ある人たちは惑わず霊と悪霊の教えとに心を奪われ、信仰から離れるようになります。」

このことは、今日様々な場所で起こっています。そして、それらの間違いについての例が次に挙げられています。

「それは、うそつきどもの偽善によるものです。彼らは良心が麻痺しており、結婚することを禁じたり、食物を断つことを命じたりします。しかし食物は、信仰があり、真理を知っている人が感謝して受けるようにと、神が造られた物です。」

特に、アメリカの西海岸では、これに当てはまる多くの人々を見ることができます。彼らは超霊的になっており、結婚しないと決めたり、また結婚したとしても配偶者と同居せず、食べ物においても超霊的になろうとします。知恵を持って食べるべきだと私も思いますが、食べ物から宗教を作ることはしません。お分かりですか。それが宗教的問題になる瞬間、あなたは悪霊的になりかけています。そして、食べ物の流行にのめり込む人が、それ以外のことは何も語らないことにあなたは気づくでしょう。それは、もう一つの悪霊的なしるしです。どこから始めようと、いつも最後には食べ物の話で終わるのです。あれこれを食べてはいけないというものです。私も食べない物がたくさんありますが、宗教をそこから作り出すことはしません。お分かりでしょうか。

では9つ目、私たちの肉体の領域です。福音書から多くの霊を取り扱ってきました。特定のものは通常、悪魔的ですが、常にとは言いません。リストの最初に挙げるのは、てんかんです。私は多くの人解放されるのを見てきました。妻と私は2年ほど前、アメリカのケンタッキー州におり、祝福の時でした。40歳ぐらいの女性が18歳ぐらいの娘さんとやって来てこう言いました。「プリンス先生、10年前に祈っていただいて、私はてんかんの霊から解放されました。これは私の娘で、彼女はその問題を持っているので、祈ってもらえませんか。」私はそのあかしに喜びました。私たちはその娘さんのために祈り、彼女は解放されたと信じています。汚れた霊として取り扱ったとき、多くの人がかんから解放されるのを見てきました。誰かが集会で私のところにやってきたら、私はそれを汚れた霊と見なして、それに出て行けと命じる準備ができています。あなたはそうしてほしいですか。そこには戦いがあるかもしれませんが、あなたはその準備ができていますか。もし、そうしたくないなら、私はそうしません。はい、大丈夫ですと言う人も、嫌だと

言う人もいます。

語れるところまで語ることができました。悪霊の主な働きのリストを9つの動詞から取り扱ってきました。そして、これらは、悪魔が働いていると思われる、おもな領域です。性的な領域は明確であるかもしれませんが、その人の問題は、偽りの宗教であるかもしれません。あるいは、思いの中には霊的なものがなくても、感情で行き詰っている人もいます。また、異端にいなながらもまったく健康的であるかもしれないのです。お分かりでしょうか。

最初のセッションは終わりです。神が次のセッションで完了させていただきますように。